



2012 年度 未踏 IT 人材発掘・育成事業 採択案件評価書

1. 担当PM

プロジェクトマネージャー: 越塚 登 PM
(東京大学 大学院情報学環 教授 /
YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所 副所長)

2. 採択者氏名

チーフクリエイター: 西森 友省
(香川大学大学院 工学研究科信頼性情報システム工学専攻)
コクリエイター: 立川 篤
(ヤフー株式会社 コンシューマ事業カンパニー開発本部)

3. 委託金支払額

1,792,000 円

4. テーマ名

大学で学べる科目を最大限に活用する時間割ナビシステムの開発

5. 関連Webサイト

Active Syllabus: <http://whitebase.org/as>

6. テーマ概要

大学に入学すると、高校までとは異なり学生は自分の時間割を開講科目の中から選択して作成する必要がある。開講科目の中には選択科目や必修科目という分類だけでなく、カリキュラムで定められた科目区分から必要な単位数を履修することが卒業要件となるような制約条件も加わる。学生は、膨大な開講科目の中から複雑な条

件を判別し、さらに自分の興味を満たす科目、そして将来役に立つかもしれないという科目の選択をしなければならないが、これは決して容易な作業ではない。学生の自主的な努力が求められる一方で、大学側はガイダンスを開く等で大学における履修方法の説明を行う。

本提案ではこのような複雑なプロセスを情報技術で簡素化し、時間割作成に伴う煩わしさから学生、大学関係者を解放すると同時に、学生の興味関心を最大に満たす時間割作成をナビゲーションするためのシステムを開発する。開発したシステムは幅広く全国、全世界の大学で利用されることを目指していく。

7. 採択理由

本提案は、複雑化する大学のシラバス構造及びその構造の中から、学生本人が自分の望む科目の履修計画を立てるスケジューリングが困難化しているという、現状の大学の課題の解決を目的としている。

そのために、まずシラバス情報を分析した上で、様々な履修上の制約を取り入れ、自分の興味や好みにあった時間割を構成するサービス及びそれを実現するシステムの開発をする。問題意識も共感できるものがあり、アルゴリズム設計とコーディングを適切に行なえば、実用的かつ、未踏事業期間で十分に開発可能な規模であると考えられる。

現在、大学の履修条件などは複雑化しており、完全に機械的に処理できないケースも多いため、そうした条件や制約の正確性を追求するよりは、むしろ、学生の視点にたって、学生の関心のある基準を反映するなど、現状の提案を更にブラッシュアップした上で、すぐにサービス開始が可能なシステムを開発することが期待される。

8. 開発目標

開発目標は、大学におけるオンライン化されたシラバスの作成、履修条件や学生の Preference に応じた時間割の自動作成を行なう Web 上のサービスを構築することが本プロジェクトの開発目標である。開発後の出口としては、大学における正式なシラバスシステムとなりうることである。

9. 進捗概要

プロジェクトの進捗は、前半に方向性でかなり悩んだようで、進捗のペースが遅かった。というのも、当初は、比較的着実な公式なシラバスシステム的なものを志向していたが、未踏のブーストなどの場で、SNS 的な、ある種「裏シラバス」的な面白いアイデ

アがたくさん出されたこともあり、SNS 的な部分をどのように取り込むのかということに関して、方向性を随分悩んだようである。しかし最終的には、当初の提案に近いものとしてシステムを作りあげるに至った。そういった悩みがあったせいもあり、多少開発の進捗は遅かった部分があると考えられる。

10. プロジェクト評価

大学のシラバスや履修などを扱うプラットフォームは、様々な展開ができる。もちろん、大学のシラバスや履修管理システムという方向性もあるが、セミナー管理運営システム、また、学生自身の裏シラバス的な SNS システム、多様な展開が期待できる。今後のやりかたにもよると思うが、大学で指導教員とともにベンチャー企業も立ち上げているようなので、そこで更に続けていけば、いいシステムになるのではないかと期待できる。

11. 今後の課題

今後は、更に、これをブラッシュアップして、実用的なシステム／サービスに仕上げていくことだと考えている。また実用になれば、本当の利用者から様々なフィードバックが得られ、更に実用性を増すことになると思われる。現状の大学のシラバスシステムには、いいものがないと思われるので、うまく作って普及させれば、ある程度の地位を獲得できるシステムになると期待している。